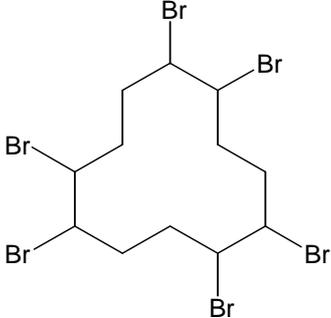


## 化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2001 - 71	官報公示 整理番号	3 - 2254(化審法)	CAS 番号	3194 - 55 - 6
名 称	1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン		構 造 式		
分子式	$C_{12}H_{18}Br_6$		分子量	641.70	
<p>市場で流通している商品(代表例)<sup>1)</sup></p> <p>純 度 : 99%以上</p> <p>不純物 : ヘキサブロモシクロドデカン異性体</p> <p>添加剤または安定剤: 無添加</p>					
<p>物理・化学的性状データ</p> <p>外 観: 固体<sup>2)</sup></p> <p>融 点: 185 ~ 195<sup>2)</sup>、173 ~ 177<sup>3)</sup></p> <p>沸 点: &gt; 250 (分解)<sup>3)</sup></p> <p>引 火 点: 文献なし</p> <p>発 火 点: 文献なし</p> <p>爆発限界: 文献なし</p> <p>比 重: 文献なし</p> <p>蒸気密度: 該当せず</p> <p>蒸 気 圧: <math>6.3 \times 10^{-9}</math> Pa (<math>4.7 \times 10^{-7}</math> mmHg) (21<sup>2)</sup>)</p> <p>分配係数: log Pow ; 7.74(計算値)<sup>4)</sup></p> <p>加水分解性: 加水分解を受けやすい化学結合なし</p> <p>解離定数: 文献なし</p> <p>スペクトル: 主要マススペクトルフラグメント m/z 67(基準ピーク, 1.0)、41(0.60)、157(0.58)<sup>5)</sup></p> <p>吸脱着性: 土壌吸着係数 Koc ; 60,000<sup>2)</sup></p> <p>粒度分布: 文献なし</p> <p>溶解性: 本物質 / 水 ; <math>8.6 \times 10^{-3}</math> mg/L (25<sup>2)</sup>) 本物質 / 有機溶媒 ; 文献なし</p> <p>換算係数: 該当せず</p>					

## 総合評価

### 1) 危険有害性の要約

ヒトへの影響に関する報告はない。

実験動物では、本物質の急性毒性、刺激性、感作性、発がん性及び生殖・発生毒性に関する報告はない。反復経口毒性として、肝臓への影響がみられており、変異原性・遺伝毒性としては、復帰突然変異試験の報告があるのみで、陰性である。

ヘキサブロモシクロドデカン(HBCD)異性体混合物(組成不明)に関しては、以下の報告がある。

経口、吸入等の経路の急性毒性による影響はみられていない。眼及び皮膚に対する刺激性はみられていない。感作性については、軽度の陽性反応があるとする報告と感作性はないとする報告がある。反復投与毒性として、肝臓及び甲状腺への影響が報告されている。変異原性・遺伝毒性としては、復帰突然変異試験について陰性の報告が1報あるのみである。発がん性に関する報告はない。生殖・発生毒性としては、混餌投与した報告1報のみであるが、母動物に影響のある用量で、児への影響は認められていない。

本物質は環境中に放出された場合、水圏では生分解されにくく、魚類に対する濃縮性は高い。環境省のモニタリングデータはない。本物質の水圏環境生物に対する急性毒性データはないが、HBCD 異性体混合物(組成不明)の藻類及び甲殻類に対する毒性は非常に強い。

### 2) 指摘事項

魚類に対する濃縮性は高く、水圏環境生物に対する毒性も高い可能性があり、長期毒性データや環境モニタリングデータなどが必要である。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(2002).
- 2) Hazardous Substances Data Bank(HSDB), U.S. National Library of Medicine(2001).
- 3) K. Verschueren, Handbook of Environmental Data on Organic Chemicals, 4th. Ed., Van Nostrand Reinhold Co.(2001).
- 4) KowWin, Syracuse Research Corporation.
- 5) NIST Library of 54K Compounds.